

市政記者各位

2025 年 12 月 12 日
福岡市博物館

特別展「魔法の歴史スコープ」を開催します

是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

歴史を通して、福岡の今と未来を考えます

この展覧会では、博物館の所蔵資料や市内の遺跡で発掘された出土品を約 250 点展示し、歴史を通して福岡の今や未来を考えます。

「今の社会の見え方が変わる」。そんな魔法のような体験を通し、子どもから大人まで、さまざまな気づきを得られる展覧会です。

人と環境との関わりの歴史をたどります

この展覧会では特に、人と「環境」がどのように関わってきたかにスポットをあてます。人は森や川、海などの自然環境との関係を築いた上に、町などの社会環境をつくり、その中でくらしています。そうした私たちの生活と深く結びついている環境と人との関わりの歴史をひもとくことで、よりよい未来をつくっていくヒントを探していきます。



↑ 石斧（弥生時代）

木の伐採や、木製品の加工に用いられた弥生時代の斧。集落や水田を広く開発していく際には大量の森林伐採が行われ、自然環境の変化を招きました。



↑ 鉄滓（奈良時代）

奈良時代に製鉄をした際に、不純物が固まったクズ。鉄は弥生時代以来、増加する人口を支えるために生活必需品となっており、その生産には大量の森林資源を必要としました。

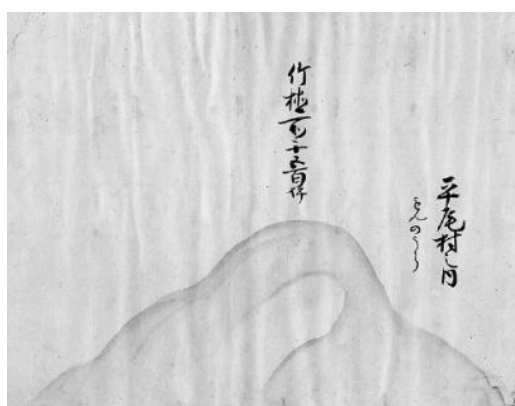
開催概要 会期：2026 年 2 月 21 日（土）～4 月 12 日（日）

場 所：福岡市博物館 特別展示室 時 間：9 時 30 分～17 時 30 分（入館は 17 時まで）

観覧料：一般 800 円（600 円）、高大生 500 円（400 円）、中学生以下無料 （ ）内は 20 人以上の団体料金



←正保福博惣図（江戸時代）
江戸時代前期の福岡の町を描いた絵図。福岡城の城下町は、江戸時代以前には人が住んだ痕跡はありません。川の付け替えや海岸の埋め立てにより、広大な町ができ、今の福岡の町につながっていきます。



←竹山之図（江戸時代）
江戸時代の山林調査の記録として描かれた山々の絵図。森林資源の利用が拡大し、江戸時代には福岡でもはげ山が増えていきます。近代までに、福岡市域で原生の植生を保つ場所はほとんどない状況となりました。



↑福岡市上水之渠（大正時代）
福岡市が上水道の供給を開始した際に配られた冊子。福岡に上水道の供給が始まったのは1923年で、その第一の目的は都市衛生の改善でした。

歴史資源の多様な価値を掘り起こす共創展示

展覧会の序章は、「2000年後から見た現代社会」をテーマに活動する現代美術家の柴川敏之氏の作品で構成します。遠い未来に発掘された今の私たちの暮らしを表現するインスタレーションを通して、「今」もまた歴史の一部であるということを伝えます。

また、展示の最終章として、江戸時代の資料に描かれた花をモチーフとした空間演出や、考古資料からインスピレーションを得たファッションを展示します。これらは、歴史資源の多様な価値を発揮させたいという博物館の思いにこたえて、市内の専門学校や短期大学の学生が制作したものです。（協力：専門学校 福岡ビジネス・アカデミー/西日本短期大学/香蘭女子短期大学）。



▲柴川敏之氏



▲2000年後に発掘された招き猫の出土品



▲作品制作にむけた資料見学のようす

■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課…杉山・朝岡 TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019

魔法の歴史スコープ 関連イベント

開催記念講演会

「人と環境の関係史 一個の時代からCo(共)の時代へ」

歴史から私たちは何を学び、現在、そして未来にどのように活かすことができるのでしょうか。人びとが協働して自然を利用してきた歴史や、協働して歴史を実践する「パブリック・ヒストリー」を一緒に考えてみましょう。

開催日: **2月21日(土)**

講師: **菅 豊氏**
(東京大学東洋文化研究所教授)

会場: 福岡市博物館 1階 講堂

時間: 午後1時30分～3時(午後1時受付開始)

定員: 240名(事前申込不要・先着順)

参加費: 無料(ただし本展観覧券もしくは半券の提示が必要)



コダイプレス presents

古代フェス in 福岡市博物館

九州の考古を全力で楽しむイベント「古代フェス」が、ついに福岡市博にやってきます!!

- ・古代マーケット
 - ・古代トーク
 - ・九州考古をテーマとしたフード
- など楽しいイベント盛りだくさん!

開催日: **2月28日(土)**

時間: 午前10時～午後4時

場所: 福岡市博物館
館内各所

詳しいタイムスケジュール等は博物館HPか
古代pressのHP(<https://kodaipress.jp/>)で。



古代フェス



各種ギャラリートーク

集合場所: 福岡市博物館 2階 特別展示室入口

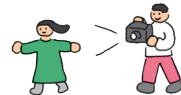
参加費: 無料(ただし本展入場者が対象)

担当学芸員による展示解説 定員: 20名程度(事前申込不要)

開催日: **2月28日(土) / 3月7日(土) / 3月14日(土)**

3月28日(土) / 4月4日(土) / 4月11日(土)

時間: 午後2時～3時



観覧料

一般	800円(600円)
高大生	500円(400円)
中学生以下	無料
常設展示室・企画展示室観覧券付	

※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者と介護者1人、および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料。※障害者手帳アプリ「ミライロID」も使用できます。※会期中のチケットは当日料金での販売となります。電子チケット購入の際に各プレイガイドによって各種手数料が発生する場合があります。

交通アクセス

市営地下鉄 博多駅(K11)から約13分、天神駅(K08)から約7分→西新駅(K04)下車(1番出口)徒歩約15分

西鉄バス 博多バスターミナル1階5・6番のりばから約25分、天神高速バスターミナル前1Aのりばから約20分→博物館北口、福岡タワー(TNC放送会館)、博物館南口下車徒歩約5分

車 都市高速百道ランプより約3分、無料駐車場(130台・大型バス10台・駐車可)

ご来場の際は、公共交通機関のご利用をお願いします。
※会期中は工事のため駐車場の利用台数が限られます。公道上での待機は固くお断りいたします。

西南学院大学 MATI TO MANY presents

「博物館からの帰り道が楽しくなる」 まち歩きツアー

西南学院大学まちづくりサークル所属の学生さんをガイドに、オリジナルマップを使って博物館から西新商店街まで歩きます。マップに掲載している昔の写真の風景が、現在のどこにあたるのかを探し、見つけた現在の場所と昔の写真を重ね合わせた「時層写真」を撮影したり、大学生オススメの場所をめぐります。

開催日: **3月28日(土)**

集合場所: 福岡市博物館 1階 総合受付

解散場所: 西新駅周辺

時間: 午後1時30分～3時30分

定員: 15名程度(事前申込不要)

参加費: 無料

(ただし本展観覧券もしくは半券の提示が必要)



ワークショップ

「2000年後の福岡を発掘しよう!」

2000年後の世界を想像しながら未来のスコープ(ローラー)で、未来の土(帆布)の中にある様々な形を写し取ります。身近なモノの形が現れる様子はまるで土の中から発掘しているよう。何が出てくるかは当日のお楽しみ! 完成品は特別展示室入口横に展示されます。

開催日: **2月28日(土)**

講師: **柴川敏之氏**

(現代美術家、就実大学教授)

会場: 福岡市博物館 1階 グランドホール

時間: 午後1時30分～3時(午後1時より随時受付)

*所要時間10分程度。帆布が無くなり次第終了。

定員: なし(事前申込不要・先着順)

*当日は、直接現地へお越しください。

対象: 小学生程度のお子様と保護者

参加費: 無料



対話をしながら展覧会鑑賞

定員: 10名程度(事前申込不要)

開催日: **3月21日(土)**

時間: 午後2時～3時

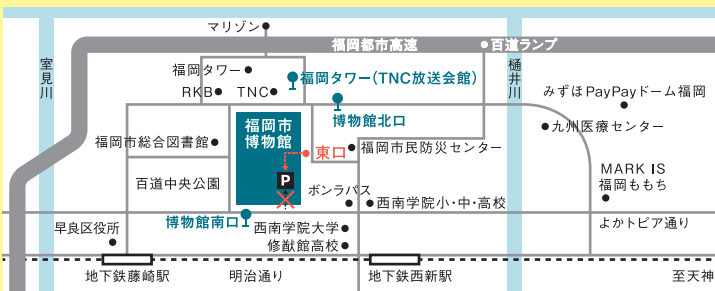
スコープを片手に展覧会探検 for キッズ

定員: 10名程度(事前申込不要)

開催日: **2月28日(土)**

時間: 午前10時30分～11時30分

対象: 小学生程度のお子様と保護者



※現在博物館駐車場への入口は東口1カ所です。

お問い合わせ先: 西日本新聞イベントサービス TEL 092-711-5491 (平日午前9時30分～午後5時30分)



福岡市博物館
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1

〈シーサイドももち・福岡タワー南〉

<https://museum.city.fukuoka.jp>

TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019

魔法の歴史スコープ

〜見つめてみよう福岡の今〜



2026. 2. 21. SAT. → 4. 12. SUN.
開館時間: 午前9時30分～午後5時30分(入場は午後5時まで)

休館日: 月曜日
(ただし、2月23日(月・祝)は開館し、
2月24日(火)は休館)

主催: 福岡市博物館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
協力: 専門学校 福岡ビジネス・アカデミー フラワービジネス学科、西南学院大学 MATI TO MANY(まちづくりサークル)、コダイプレス
お問い合わせ: 西日本新聞イベントサービス TEL 092-711-5491 (平日午前9時30分～午後5時30分)

特別協力: 柴川敏之(現代美術家)

特別協力: 西日本短期大学 緑地環境学科(まちづくり研究部)、

シーサイドももち・福岡タワー南

福岡市博物館
Fukuoka City Museum

<https://museum.city.fukuoka.jp>

いま み ひと かん きょう かか れき し 今だからこそ見つめなおす 人と環境の関わりの歴史

歴史をひもとくことは、私たちの今のくらしのあり方をより深く理解することにもつながります。私たちの生活は過去と切り離されたものではなく、また、この先の未来にもつながっているのです。社会の変化が大きく、先が予測できない今だからこそ、改めて過去を見つめ、歩んでいくことが必要なのではないのでしょうか。

この展覧会では特に、人と「環境」がどのように関わってきたかにスポットをあてます。私たちの生活にとって、自然は身近ではなくなってきたようにも感じますが、私たちは自然に頼らずに生きていくことはできません。人は森や川、海などの自然環境との関係を築いた上に、町などの社会環境をつくり、その中でくらししているのです。そうした私たちの生活と深く結びついている環境と人との関わりの歴史をひもとくことで、よりよい未来を作っていくヒントを探していきましょう。

「今の社会の見え方が変わる」。
そんな魔法のような体験を、あなたもぜひ会場で味わってみてください。子どもから大人まで、さまざまな気づきをえられる展覧会です。

チュートリアル
TUTORIAL

41世紀の未来からみた福岡の「今」 福岡市博物館×現代アート — 未来から今をみつめる — わたし れき し いち ぶ 私も歴史の一部なんだ

現代美術家 柴川敏之氏が生み出す
「2000年後の世界」から、今の福岡を見つめます。



2000年後に発掘された
折り鶴の出土品

2000年後に発掘された
キュービー人形の出土品

2000年後に発掘された
招き猫の出土品

柴川敏之 SHIBAKAWA Toshiyuki

現代美術家。1966年大阪府生まれ。広島大学大学院修了。現在、岡山市在住、就実大学教授。イタリアのポンペイ遺跡など、突如消失した文化の痕跡に触発され、「2000年後から見た現代社会」をテーマに、身近なモノを絵画技法によって「出土品（化石）」のように変換した作品を制作している。



<https://www.toshiyuki-shibakawa.com>

ターゲット
TARGET
I

もり ひと 森と人

森を切りひらき、
人の世界を広げていく



鉄の斧（刃）／弥生時代

ターゲット
TARGET
IV

まち ひと 町と人

集まる人びと、広がっていく町

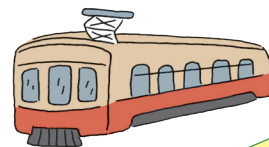
24年ぶりに実物を展示!!



福岡・博多を描いた絵図（正保福岡惣図）／
江戸時代



福岡市上水道のしおり／
大正時代



あたら ひと 福岡の人は新しいものが好き？

博多人形は
西洋美術を
取り入れて確立

博多人形「夕映え」
原田嘉平 作／
昭和時代



トピック
TOPIC



かわ ひと 川と人

水が支える人びとの暮らし

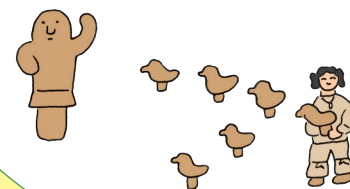


井戸の水汲み具／弥生時代

ひとよんで“があこ”



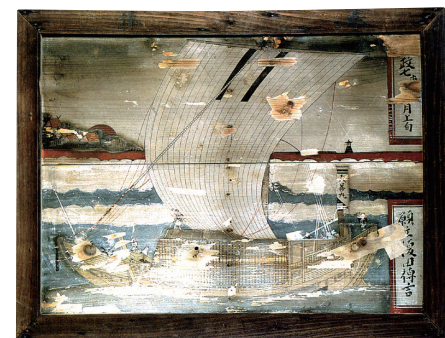
水鳥のハニワ／
古墳時代



ターゲット
TARGET
II



海がつかない人びとのくらし



廻船を描いた絵馬／江戸時代

うみ ひと 海と人

ターゲット
TARGET
III

ターゲット
TARGET
V

いま おか 福岡の今とこれから

来場者のみなさまと一緒に福岡の未来を考えます。
また、未来を担う若い世代と一緒に、
博物館資料を活用した未来へのアプローチを模索します。

福岡市博物館×花

現代によみがえる江戸時代の花々

江戸時代の古文書や屏風、着物などの
資料の中に描かれている花々が
現代のアーティフィシャルフラワー（造花）
技術でよみがえります

協力：専門学校 福岡ビジネス・アカデミー フラワービジネス学科
西日本短期大学 緑地環境学科（まちづくり研究部）



藤棚文様の振袖／
江戸時代

『本草正画譜』
万寿菊（マリーゴールド）・
八仙花（アジサイ）／
江戸時代

福岡市博物館×ファッション

いにしえの心をまとう

博物館資料や福岡市内から出土した考古資料として
残された「原始美術」からインスピレーションを得た
ファッションが並びます

協力：香蘭女子短期大学
テクニカル専攻科



銅の鏡／弥生時代

煮炊き用の土器／
縄文時代

トピック
TOPIC

か ぞく 変わりゆく家族のカタチ

夫の無事を
祈る想いを
込めた

漁師の晴れ着（ドンザ）／
明治時代

